

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	イマジネーションプラス 合同会社
公演団体名	フルノーツ with 寺井尚子 ジャズ・クインテット

内容
<p>▼内容</p> <p>【1】 ジャズという言葉を知っていますか？ 音楽には、クラシック、シャンソン、ポップス、民謡等、たくさんの種類があり、ジャズは、音楽の種類のひとつだということを伝えます。 ジャズの特徴を理解するために、馴染みのある曲を使って、普通の演奏とジャズアレンジで演奏したものを比べます。(曲目例：「ドレミの歌」「きらきら星」等)</p> <p>【2】 ミュージシャンが、音楽を好きになったきっかけ、ジャズの魅力を、自己紹介を交えながら話します。</p> <p>【3】 希望者を募り、子どもたちに前に出てもらい「ねこふんじゃった」「エリーゼのために」等をピアノで弾いてもらいます。共演可能な場合は、子どもたちの演奏にミュージシャンが加わります。また、ベートーベン作曲の「エリーゼのために」が編曲されたものとして、「情熱の花」を演奏します。</p> <p>【4】 ジャズの手拍子の取り方を指導します。 リズムには、表の拍と裏の拍があります。一般的な曲は、表（オンビート）に拍子をとりますが、ジャズは裏（オフビート）が基本です。</p> <p>【5】 ジャズの曲「A列車で行こう」を演奏します。【4】 で練習した手拍子にチャレンジします。</p> <p>【6】 子どもたちの演奏に、ミュージシャンがリズムをつけます。 あらかじめ、音楽学習で練習している曲を準備していただき、子どもたちのリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の普段どおりの演奏に、演奏家がバックアップで加わります。同じ演奏でも、ジャズのリズムが加わったことで、音楽がとても生き生きすることを体験します。曲目例：ぶんぶんぶん、きらきら星、パフ、ラバースコンチェルト等。 学年単位でも、全員演奏でも対応可能ですが、子どもたちは、演奏することで精一杯な場合があり、可能であれば2曲以上準備して、お互いに聴いてみると効果的です。</p> <p>【7】 「ウッドベース」の楽器紹介と、演奏を体験します。</p> <ul style="list-style-type: none">・ウッドベースの特徴を伝えます。 クラシックでは「コントラバス」と呼び、弦楽器では一番大きな楽器であること、ジャズでもクラシックでも、一番低い音を担当し、クラシックでは、アルコ（弓）を使って演奏することが多く、ジャズでは、ピチカート奏法を多く使用すること等を伝えます。・開放弦を使って、「聖者の行進」を演奏します。 ベーシストが見本を見せて、子どもたちから希望者を募り、ピアニストと共演します。3～6名を予定していますが、大人気のコーナーですので、体験できなかった子

どもたちには、休憩時間に楽器を触る機会を設けます。

【8】本公演で共演するジャズの曲「Cジャムブルース」を練習します。

「ソ」と「ド」だけを使ったテーマの簡単なメロディーを、耳で聴いて覚えます。全員に、鍵盤ハーモニカまたはリコーダーを持参いただき参加をお願いしています。ワークショップ時の練習で、ほとんどの子どもたちが演奏できるようになります。

【9】ジャズの特徴である即興演奏について

即興演奏は、楽譜などにたよらず、その場で作曲や編曲をして演奏する手法であり、ジャズの演奏家は、即興演奏をしたいがために、ジャズ理論を勉強し努力していることを話し、実演しながら、即興の楽しさを伝えます。

<中学生の場合>ジャズ特有のスケール「ブルーノート」について、簡単に実演し説明します。本公演での、即興演奏の希望者も募り、本番で行えるよう指導します。

【10】リズムの種類によって、曲が変化することを体感します。

「星に願いを(映画ピノキオのテーマ曲)」を使って、リズムを変えて演奏します。

- ① ノーマル ②4ビート ③ワルツ ④サンバ ⑤ファースト4ビート
- ⑥ 8ビート(ジャズロック)等

⑤の早い4ビートでのオフビートの手拍子は難しいですが、本公演でもリズムにのれるように曲の変化を楽しみながら練習します。

【11】ボディパーカッションを練習します。

2つに分かれて、それぞれのリズムのパートを練習します。

「テキーラ」というラテン曲を使用します。かけ声には学校名をあてはめて、練習します。ラテンのリズムから、4ビートに変化して、最後にかけて声という、とてもノリの良い曲です。ワークショップを参考にして、ボディパーカッションを創作し行う希望者を募ります。希望者は本公演の際にステージに上がり、皆を先導します。

【12】質問コーナーを設けます。

【13】「セント・トーマス/作曲 ソニー・ロリンズ」「イズント・シー・ラブリー/作曲 ステイビー・ワンダー」等、ノリの良い曲を演奏し、みんなで体を動かし、リズムにのって楽しむことを体験します。マラカスのリズムの取り方も指導し、希望者を募り、ステージ前で鳴らします。

タイムスケジュール(標準)

9:00 学校へ 準備と打合せ 10時30分~ワークショップ開始 5分休憩 昼休30分
午後14時終了

派遣者数

主指導者 補助者 全5名

学校における事前指導

「フルノーツ・フォー・キッズ」というアルバムの音源を送ります。ジャズに親しみ、訊きなれて頂くために、学校放送等で、何度か流していただくようお願い致します。共演する曲を選び、当日、一緒に演奏できるように、ご指導をお願い致します。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書

制作団体名	イマジネーションプラス 合同会社
公演団体名	フルノーツ with 寺井尚子 ジャズ・クインテット

演目
<p>日本ジャズ界・実力ナンバーワンの一流の演奏家が集まり、子どもたちのために、心が躍る本物のジャズ音楽を届けます。美しい音色と共に広がる心地よいリズムとジャズならではの即興演奏による躍動感、子どもたちの感性を刺激し、創造力・発想力を開花させます。</p> <p>子どもたちの心に一生残る夢のようなステージを！ 想像をはるかに超えた、子どもたちが熱狂する感動プログラムです。</p>
<p>▼内容</p> <p>【オープニング】 ジャズミュージシャンの紹介と呼び出し</p> <p>【1】 ジャズのスタンダードナンバー、わくわくする名曲でスタートします！ 演奏 「A列車で行こう」 /作曲=ビリー・ストレイホーン</p> <p>【2】 ジャズ特有のブルーノート音階で表現され、CMでもお馴染みの曲です。 演奏 「モーニン」 /作曲=ボビー・ティモンズ (リクエストにより「テイクファイブ」も対応可)</p> <p>【3】 楽器の紹介と、メンバーの自己紹介です。 トーク + 演奏 また、その楽器を使って演奏します。(演奏曲は変更されることがございます)</p> <p>i) テナー・サクソ：主にメロディーを奏でる楽器です。日本で No.1 の実力を持つ、川嶋哲郎ならではの技術を使い、パーカッション風の音色、ロングトーン、高音から低音まで紹介します。 「オーバー・ザ・レインボー」 /作曲=ハロルド・アーレン</p> <p>ii) ピアノ：お馴染みの楽器ですが、本名は「ピアノフォルテ」といいます。大きな音から、小さな音まで奏でられる楽器として、名づけられました。卓越したテクニックを持つピアニストが、鍵盤をフルに使い演奏します。 「ワルツ・フォー・デビー」 /作曲=ビル・エヴァンス等</p> <p>iii) ウッドベース：弦楽器では一番大きな楽器で、クラシックでは「コントラバス」と呼ばれ、低い音を担当します。ワークショップでは、この楽器の体験機会があ</p>

り、本公演時には子どもたちにとって馴染みのある楽器となっています。

「ゲゲゲの鬼太郎」 /作曲=いずみたく等

iv) ドラムス：バスドラが大太鼓、スネアドラムが小太鼓にあたり、別々に演奏していたものを一人で演奏できるようにしたものが、ドラムスです。ジャズを演奏するために作られました。マーチのリズムから、8ビート、16ビート等、演奏しながら紹介します。

v) ヴァイオリン：世界で大活躍する寺井尚子が、ヴァイオリンの特徴を伝えます。普通に演奏したメロディーと即興演奏を、ヴァイオリンで弾き比べます。

「翼をください」 /作曲=村井邦彦 等

【4】音楽に種類があるようにジャズにも種類があります。トーク (寺井尚子) + 演奏
寺井尚子が、ドラマチックにジャズの歴史を交えながら、ジャズのスタイルを話し、代表曲を演奏します。まるで映画のワンシーンを見ているような寺井尚子の語りは、ジャズの魅力を際立たせます。

i) デキシード・ジャズ

アメリカのニューオーリンズで自然発生的に誕生し、発達していきました。

代表曲 「聖者の行進」 /アメリカ民謡

ii) スイング・ジャズ

労働者から誕生したジャズは、多くの人に受け入れられ、大編成（オーケストラ）で演奏することが主流になりました。クラシックしか演奏できないカーネギーホールでもジャズが演奏されたほど、広く普及していきました。

代表曲 「シング・シング・シング」 /作曲=ルイ・プリマ

iii) モダン・ジャズ

本来の即興演奏が好きなジャズメンたちが、セッションをして進化させたスタイルです。高度なテクニックが必要となり、スピードも早くなりました。代表曲

「ドナ・リー」 /作曲=チャーリー・パーカー

【5】校歌をジャズアレンジにして、子供たちに届けます。演奏

いつもの校歌が、全く別の音楽に変化して、ジャズの面白さを体感します。驚きと感動が生まれます。

【6】共演！！ コラボレーション！ ミュージシャン + 子どもたち

一流の演奏家と、子どもたちが、一緒に演奏できる素敵なプログラムです。即興の技術を持つジャズ演奏家だからこそ可能な共演スタイルです。

i) ステージ下にスタンバイして、鍵盤ハーモニカまたはリコーダー等で、代表の子

どもたちと共演します。

※学年の選抜、部活等、学校の希望に添い行います。2団体まで可能です。

曲目：ラバースコンチェルト、茶色の小瓶、ス・ワンダフル、ポップス、民謡等
基本的に、どんな曲でも、どんな楽器でも対応可能です。

本公演当日、各共演約10分間のリハーサルをお願い致します。

ii) 歌とのコラボレーション

一流の演奏家の音楽と共に、みんなで合唱します。

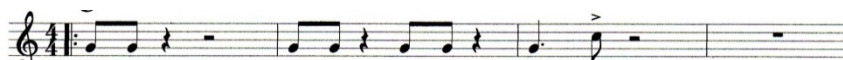
(今月の歌等、リクエストに応じます。どんな曲でも対応します。)

iii) ジャズの名曲を、全校生徒と共演します。

「Cジャムブルース」 /作曲=デューク・エリントン

テーマが、「ソ」と「ド」だけでできている、簡単な曲です。

ワークショップで、耳で覚えて練習します。



本公演では、即興演奏も入り、本格的に、みんなで共演を行います。

<小学生>ミュージシャンが即興演奏を行います。

<中学生>生徒の希望者を募り、ミュージシャンと一緒に即興演奏を、
行います。(先生の参加も大歓迎です)

iv) ボディパーカッションを楽しみます。(手と足とかけ声を使います)

「テキーラ」 /作曲=ダニエル・フローレス

ワークショップで体験したボディパーカッションを参考に、本公演では、希望者がステージに上がり先導します。ラテンの曲ですが、途中で4ビートに変わり、メリハリのある楽しい編曲です。

★かけ声は、テキーラでなく、学校名をあてはめます。(例：入江小学校は「イリーエ!」、南月寒小学校は、愛称の「ナンツキ!」等)

【7】メドレー

子どもたちに馴染みのある、アニメの曲や映画音楽、ポップス等を中心に、ジャズアレンジにして演奏します。演奏

※学校のテーマソング、地域に根ざしている曲等、リクエストにも応じます。ジャズという音楽の特性から臨機応変に対応します。

<小学生>

i) 「崖の上のポニョ」 /作曲=久石譲 (映画ジブリの名作より)

ii) 「となりのトトロ」 /作曲=久石譲 or
「夢をかなえてドラえもん」 /作曲:黒須克彦

iii) 「パプリカ」 /作曲=米津玄師 等、旬な曲。

iv) 「星に願いを」 /作曲=リー・ハーライン

(ワークショップで学習したファースト4ビートで演奏します。ジャズのリズムにのって手拍子をしましょう。)

v) 「ルパンⅢ」 /作曲=大野雄二 (ジャズミュージシャン作曲のアニメ曲です)

<中学生>

i) 「ミッション：インポッシブル」 /作曲=ラリ・シフリン

(映画：スパイ大作戦)

ii) 「YELL」 /作曲=水野良樹 or 「奏」 /作曲=常田真太郎 or

「愛をこめて花束を」 作曲/多保孝一 (感謝を表現した曲を選択)

iii) 「ボレロ」 作曲/ラヴェル

(クラシック曲もジャズアレンジにして届けます)

iv) 以降は、上記と同じ、又はリクエスト曲

【8】 サンバのリズムは、自然に身体が動きます。 **演奏+** **子どもたち**

有名なサンバの曲です。ワークショップではサンバのリズムも学習します。

「オルフェのサンバ」 /作曲=ルイス・ボンファ

★曲中で、ドラムスがリズムの先導を行い、子どもたちが聞き取ったリズムを手拍子できざみます。2小節ずつのリズムの掛け合いです。マラカスでの参加も募ります。



【9】 寺井尚子が、チック・コリアの名曲を演奏します。繊細でもの悲しく、かつエキサイティングに子どもたちを魅了します。 **演奏**

「スペイン」 /作曲=チック・コリア

【アンコール】 **演奏**

日本だけでなく、世界中で愛されている名曲です。

簡単な振り付けをワークショップで行い、一緒に踊ります。

「上を向いて歩こう」 /作曲=いずみたく

派遣者数

出演者 5名 スタッフ 13名 合計 18名

タイムスケジュール（標準）

前日仕込み(有 無) 会場設営の所要時間（4時間程度）

到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
8時	8時～12時 リハーサル含む	13時半～ 15時10分	10分	15時10分 ～ 17時30 分	17時30分

※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。

子どもたちとの共演のためのリハーサルは、11:00～12:00を予定していますが、本番前であれば、臨機応変に対応いたします。

実施校への協力依頼人員

体育館の開錠 ピアノの開錠 電源の開錠をお願いできれば、特に必要ございません。

演目解説

★小学1年生でも、最後まで夢中になって楽しめる構成としました。

(番号はプログラム番号に対応しています。)

【1】「A列車で行こう」スタートの曲は、楽しく、躍動感あふれる、最も有名なジャズのスタンダード曲を選びました。子どもたちがワークショップで覚えた、ジャズ特有のアフタービートの手拍子を誘導でき、元気よく期待感に胸を膨らませて始まります。

【2】「モーニン」ジャズ特有のスケール「ブルーノート」を使った代表曲を演奏します。CMでお馴染みの曲です（希望があれば「テイクファイブ」でも可）。公演前半は、演奏者の音楽性とテクニックが伝わるように、ジャズのスタンダード曲を続けて演奏し、ジャズのビートをしっかり感じとります。

【3】楽器紹介は、子どもたちが、演奏してみたいと好奇心を持つよう、演奏者各自が親しみやすく解説し、楽器の特徴を生かしたポピュラーな音楽を演奏します。

【4】ジャズの種類について、楽しくわかりやすく解説します。デキシーランド・ジャズ、スウィングジャズ、モダン・ジャズと、ジャズには色々な種類があり、歴史とともにリズムやメロディーも少しずつ変化していくことを伝えて、代表曲を演奏します。また、どの音楽のジャンルにも、歴史と種類があることを伝え、音楽に興味関心を持つことも目標としています。

【5】校歌をジャズアレンジして演奏します。いつもの校歌が、ジャズならではのリズムの変化や即興演奏を交えた編曲で、まったく違う楽曲に聞こえる、驚きと感動のプログラムです。校歌がこんなに素敵な曲だと思わなかった、ジャズに変化すると違う曲に聞こえる等、音楽に好奇心を持つ、大きなきっかけになっています。先生方の感動も大き

く、演奏したものを録音し、プレゼントしています。

【7】共演は、子どもたちにとって、最も思い出に残るシーンです。一流のミュージシャンと一緒に演奏できる機会は貴重であり、できるだけ多くの子どもたちが、演奏家を身近に感じることができる時間を持ちたいと考え、4つのプログラムを準備しました。できるだけご希望に添えるよう、学校とご相談しながら行います。

【8】「メドレー」子どもたちの馴染みのある曲を演奏します（約5曲）。どんな曲でもジャズになるというジャズ音楽の特性を生かし、子どもたちに親しみのある曲を演奏します。曲目は公表せず、わくわく感を誘います。自由に歌ったり踊ったりできる魅力的な曲を選び、リクエスト曲も受け付けて構成します。

【9】ジャズのスタンダードとして演奏されることが多いサンバを選曲しました。途中で、ドラムスが、わかりやすいリズムを先導し、子どもたちが真似をして手拍子します。音楽に合わせて身体をうごかすことが気恥ずかしい年頃の子どもたちにも、自然に参加してもらえる工夫をしています。

【10】「スペイン」ピアニストであるチック・コリアの名曲ですが、ジャズ・ヴァイオリン奏者・寺井尚子をフューチャリングして演奏します。寺井尚子の演奏する「スペイン」を聞きたい音楽ファンが数多いことも有名です。鳥肌が立つほどの感動をおぼえます。「アランフェス協奏曲第2楽章（アダージョ）/作曲・ホアキン・ロドリーゴをイントロとして用い、その後は一転アップテンポになる非常にエキサイティングな楽曲です。

【アンコール】「上を向いて歩こう」常に好きな歌の上位にランキングされ、日本人が親しみを感じ海外でも有名な名曲です。（ご希望により臨機応変に対応します。）

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

下記の4つの形態で共演・参加・体験をします。

1) 親しみのある楽曲を準備してもらい、希望者（各学年、クラス、吹奏楽部など）と、演奏家との共演を行います。（約50名まで対応可能）

●ワークショップでも、共演をしてリズムが加わることで音楽がより楽しく感じることを学習しますが、本公演では、本格的なコンサートで共演するわくわく感を味わいます。

●本公演の前に、10分程度のリハーサルを行います。プロの演奏家が、即興でリズムやメロディーを加えていくテクニックを、間近で体験することができます。これは、一般の音楽関係者でも驚くような、幣団体の演奏家の技術と音楽性から可能な形態であり、子どもたちに大きな刺激を与えます。

2) 歌の共演を行います。（全校児童、全校生徒）

●歌を共演します。日常のピアノ伴奏の合唱でなく、ヴァイオリン、ベース、ドラムス

等を加えた音楽を聞きながら声を出すことで、歌う楽しさをさらに感じます。

3) ジャズスタンダード曲の共演 (全校児童、全校生徒)

●全員で共演する「Cジャムブルース」は、「ソ」と「ド」だけでできたシンプルな曲です。簡単でありながら音楽として素晴らしく、みんなで演奏すると、もっと楽しいということを学びます。

●即興を入れて共演し、サクソ奏者・川嶋哲郎も、リコーダーや鍵盤ハーモニカを使って参加します。身近な楽器によるアドリブに驚かされます。

4) ボディパーカッションとかけ声を交えたコラボレーションを行います。(全校児童、全校生徒)

●吹奏楽部でも人気のある「テキーラ」というラテン曲です。子どもたちが、ボディパーカッションを使ってリズムを感じながら共演します。ラテン曲ですが、途中でジャズのリズム「4ビート」に変化します。かけ声は、「テキーラ」でなく、学校名とします。またワークショップで行った内容を参考にして、希望者が、ボディパーカッションを創作し、本公演では、ステージに上がってみんなを先導します。アンコールで「テキーラをお願いします」と声がかかるほどの人気プログラムです。

児童生徒とのふれあい

ワークショップでは、ご希望がございましたら給食等、一緒に食し、コミュニケーションを図ることは可能です。

本公演等は、写真撮影等、ご希望がございましたら対応致します。

